

事例4 単元「場面の様子をそうぞうしながら読もう ～ちいちゃんのかげおくり～」

叙述をもとに、自分の言葉で考え表現できる子をめざして

国語 第3学年

かほく市立外日角小学校

1 事例の概要

本校では研究主題「自ら考え、学び合う子をめざして』のもと、児童の学習意欲を高めること、かかわり合いを深めることを中心に授業改善に取り組んできた。今年度は副題を「書くことを通して」とし、書くことを通して、一人一人が課題に対する自分の考えと根拠をしっかりとって表現することで、考えを深めたり広めたりして学び合いの活性化を図ってきた。

また、どの子ども考えとその根拠をもてるようにするために、何をもとに読んでいけばよいか、教材分析でアイテムを明確にしていって。さらに、授業の中で、どういう学び方をしたら読めたのか意識づけることで、次の学習での活用につなげるようにした。アイテムを意識することで、どの子どもにも学び方や考える力が育ち、書くことで表現力や思考力も育つと考え、授業実践を重ねてきた。

本事例は、叙述（会話や行動、様子を表す言葉）をアイテムに、ちいちゃんの心情の変化を豊かに読み、自分の言葉で表現できる子の育成を図ったものである。

A-1 めざす子どもの姿とつけたい力

A-2 国語科の基本的な学習過程

2 実践内容

(1) 単元の目標

叙述に即して、場面の移り変わりや情景、登場人物の心情について想像しながら読む。

指導上の工夫点

① 一人一人が興味をもち、主体的に学習を進めていくことができる単元の導入

児童は、これまでに戦争について話を聞くことが少なく、実際の出来事として意識している児童は少ない。本単元では、戦争についての想像力を深めることができるように、導入で戦争の写真集や資料を提示した。そうすることで、児童が戦争を少しでも身近に感じ、ちいちゃんの気持ちになって考えることができると考えた。

② 一人一人が主体的に学習を進め、学び方が身につくような授業づくりの工夫

児童が主体的に学習を進めることができるように、一時間ごとの課題を児童の初発の感想をもとにしながら一緒に設定した。また、児童が授業の始めに同じ土台に立てるように、課題に対する一人学習の時間を設け、自分の考えをもつ時間を確保した。その際、叙述を意識させるために、様子や気持ちが表れている部分に線を引いたり音読したりするようにし、そこから自分の言葉で表現できるようにした。

活用力を育てるために、場面の様子やちいちゃんの心情の変化を掲示し、掲示を活用して前時とのつながりを考えながら課題を解決していくようにした。そして、授業の最後には叙述から読み取ったことをもとに想像を広げて吹き出しを書くことで、考えを深めるようにした。

③ 一人一人が互いのよさを認め合い、学んだ喜びを実感できるような評価と支援の工夫

話し合いの時間を多く取り、自分の考えと友達のを比べたり同じところを見つけたりしながら聞くよう声をかけた。その時にネームプレートを用いて誰がどの考えをもっていたかを明らかにすることで、友達の考えのよさに気づかせるようにした。それらをもとに、振り返りカードでがんばっていた友達を『今日のきらりさん』として書くようにすることで、友達の意見を聞くことが自分の学習にもつながることに気づくことができるようにした。また、自己評価も行ったり、吹き出しを紹介したりすることで、一時間ごとの自分のがんばりに気づき、次時への意欲につながると考えた。

B-1 指導案

3 指導の実際

第一次 〈自分たちで課題を考えて、学習の見通しをもとう〉

- ・初発の感想後、学習計画や課題を立て、単元の見通しをもつ。

場面の様子やちいちゃんの気持ちを考えよう
気持ちをこめて音読発表会をしよう

ちいちゃんは死んでしまって、とってもかわいそうだよ。
戦争ってすごく怖くて悲しいことだよ。今は幸せだな。

児童は、今と戦争時のくらしの違いに気づき、学習に対する意欲や見通しをもつことができた。

第二次 〈ちいちゃんの気持ちを考えよう〉

- ・一人学習
- ・考えを交流し、課題について話し合う
- ・様子や気持ちが表れている叙述に線を引く
- ・場面ごとの様子やちいちゃん的心情の変化を掲示
- ・学びあいをもとに吹き出しを書く

叙述をもとに発言したり、友達の考えからちいちゃんの気持ちの読み取りを深めたりすることができるようになっていった。

ふり回りカードで自己評価・相互評価することで、次時への意欲につなげることができた。

第三次 〈音読発表会をしよう〉

- ・場面の様子を想像しながら、読み方を工夫する
- ・友達のよいところを見つける

場面の様子を想像しながら登場人物になりきって音読していくことで、戦争の悲惨な状況の中に生きているちいちゃん的心情を感じ取ることができた。

C-1 ワークシート

C-2 ふり回りカード

4 成果と課題

(1) 成果

① 情景描写や登場人物の心情を読み取る力の向上

課題に対する一人学習を十分確保することで、授業に自信をもって臨むことができた。心情を想像する際にも、叙述をもとに考えるようにしてきたため、想像豊かに様子や気持ちを考えることができるようになった。学習の足跡を掲示したことで、前時の場面の様子と比べたりつなげたりしながら読み取りを深めることができた。

② 自分の考えを文章で表現する力の向上

友達と考えを話し合い交流することで、自分と同じ考えや違う考えにふれることができた。そうすることで、登場人物になりきって自分の考えや思いを素直に表現できるようになってきた。授業の最後にまとめとして登場人物の気持ちを書く活動を続けてきたので、書くことに抵抗のあった児童も自信をもって書くことができるようになってきた。

(2) 課題

文章を読み取るときに使うアイテムを、他の文章を読んだときにも活用できるようにしていきたい。アイテムを意識して物語文だけでなく、説明文も読み取る力を育てていきたい。